

こども未来本科2年課程・チャイルドイングリッシュ

授業科目名	オペア	担当講師	金城ひとみ	授業日時	月曜 1校時
実務教員	○	実務教員の紹介	実務経験者・担当教員が行う授業		
授業時数	15	単位数	1単位	配当年次学期	1年生・前期

授業の学習成果

オペアの理解度を深め、留学に行くための登録及び手続き準備を通して、留学に必要な英語力とコミュニケーション力を身に着ける。

授業の概要

オペア留学の基本知識を確認する。オペアとしての自分の魅力を見出し、面接のときに自己アピールできるように対策する。

授業計画

- 1 オペアとは何か
- 2 オペアとしての心得を確認する
- 3 ホストファミリーと暮らすマナーと注意点
- 4 オペア留学前の海外研修プログラムの説明
- 5 アメリカと日本の保育の違いを学ぶ
- 6 日本語の面接対策として志望動機と保育経験の作成
- 7 英語の面接対策①自己紹介文を考える
- 8 英語の面接対策②職歴と経歴を英語で言えるようになる
- 9 英語の面接対策③子供と接する上で何が大切かなどの質問に英語で答える
- 10 300時間の保育経験を得るための計画書を作成する
- 11 面接試験本番
- 12 登録書類の確認と作成
- 13 AuPair Agreementを完成させる
- 14 AuPair Match Informationを完成させる
- 15 オンラインアプリケーションの作成

参考資料等

AuPair Careパンフレット (Intrax)
 添付書類チェックリスト① (Au Pair Care by Intrax)
 MyAuPairCareオンラインアカウント

授業の評価方法・基準

出席率・授業態度50%、内容理解・進行状況50%

こども未来本科2年課程・チャイルドイングリッシュ

授業科目名	オペア	担当講師		授業日時	
授業時数	15	単位数	1単位	配当年次学期	1年生・後期

授業の学習成果

オペアの理解度を深め、留学に行くための登録及び手続き準備を通して、留学に必要な英語力とコミュニケーション力を身に着ける。

授業の概要

オペア留学の基本知識を確認する。オペアとしての自分の魅力を見出し、面接のときに自己アピールできるように対策する。

授業計画

- 1 オンラインアプリケーションのアカウント作成
- 2 オンラインアプリケーションの進め方を説明後、Personal Information を始める
- 3 Personal Informationを終わらせる
- 4 Contact Informationを完成させる
- 5 Interests and Hobbiesの英文に取り組む
- 6 Interests and Hobbiesの英文の続き
- 7 Interests and Hobbiesを完成させる
- 8 Your Familyの入力を始める
- 9 Your Familyのポイントを理解しながら英文作成する
- 10 Your Familyを完成させる
- 11 Match Questionsを進める
- 12 Match Questionsを完成させる
- 13 Photo Albumの為の写真を見つける
- 14 Photo Albumの為の写真を編集する
- 15 Photo Albumを完成させる

参考資料等

AuPair Careパンフレット (Intrax)
 添付書類チェックリスト① (Au Pair Care by Intrax)
 MyAuPairCareオンラインアカウント

授業の評価方法・基準

出席率・授業態度50%、内容理解・進行状況50%

授業科目名(担当者 金城 永太郎)	単位数	学習形態
保育実習	1単位(120時間)	実習

(授業のテーマ)

保育実習Ⅰで学んだことをふまえて、保育実習Ⅱでは幼児理解と保育士の専門職についてさらに深い学びと理解を目指す。

(授業の概要)

保育所に関する知識、実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。

保育実習Ⅱは保育所において、基本的に1日8時間の15日間・計120時間とする。

(授業計画)

保育所の役割を理解する

乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する

実習に向けての心構えを考える

保育実習の流れと諸注意を理解する

指導計画の作成について理解する

実習日誌の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の保育所と事前にオリエンテーションを行ない、実習先の保育所の概要を知る

保育に参加し、保育の流れや乳幼児の生活や遊びの実態を知る

保育士の配慮事項を知り、保育士という専門職の理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りの授業を行う

(参考書・参考資料)

保育所保育指針

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

実習ワーク

保育の計画と評価を学ぶ

(学生に対する評価)

実習先保育所からの評価60%

実習感想簿20%

事後指導への取り組み20%

授業科目名(担当者 新崎清美)		単位数	学習形態
童謡(弾き歌い)		3 単位(90時間)	実技(キーボード)指導
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験者 行う授業
<p>授業のテーマ 数多くある「童謡」をピアノで伴奏し、歌い、指導する。</p> <p>授業の概要 1・指定された曲を練習し、歌詞を覚えて、弾き歌いへと導く。 2・グループでの全体指導の後、個人指導を行う</p> <p>授業計画 1 年生…一日の始まり～終わりまで。誕生会、お弁当会等、その月に関わる歌を目標として、練習する。 2 年生…四季を通して季節～その行事に関わる曲を完成する。</p> <p>どちらの学年も最終目標は「ピアノ 楽譜を見ずに」子供の表情を観察しながら指導できる！！を目指しています。</p> <p>テキスト 幼児のうた 100 曲</p> <p>参考書・参考資料 曲により私の本からのコピー 等</p> <p>学生に対する評価 月一回の弾き歌いのテストを実施する。 ↓ ◎<u>ピアノが弾けている。</u> <u>声を出して歌えている。</u> <u>ピアノと声楽のバランスが良く仕上がっている。</u></p>			

授業科目名(担当者 金城永太郎)	単位数	学習形態
体験実習(認可)	1単位(40時間)	実習

(授業のテーマ)

様々な保育や教育の現場を体験する

(授業の概要)

体験実習は選択制(認可外保育園 インターナショナル保育園 小学校)とし、希望する施設で体験実習を行なう

実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする

(授業計画)

各施設の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行い、実習先の施設の概要を知る

保育や教育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

保育士や先生の配慮事項を知り、職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 金城永太郎)	単位数	学習形態
体験実習(認可)	1単位(40時間)	実習

(授業のテーマ)

様々な保育や教育の現場を体験する

(授業の概要)

体験実習は選択制(認可外保育園 インターナショナル保育園 小学校)とし、希望する施設で体験実習を行なう

実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする

(授業計画)

各施設の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行い、実習先の施設の概要を知る

保育や教育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

保育士や先生の配慮事項を知り、職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 金城永太郎)	単位数	学習形態
体験実習(認可)	1単位(40時間)	実習

(授業のテーマ)

様々な保育や教育の現場を体験する

(授業の概要)

体験実習は選択制(認可外保育園 インターナショナル保育園 小学校)とし、希望する施設で体験実習を行なう

実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする

(授業計画)

各施設の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行い、実習先の施設の概要を知る

保育や教育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

保育士や先生の配慮事項を知り、職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 金城 永太郎)	単位数	学習形態
施設実習	1単位(80時間)	実習

(授業のテーマ)

保育所以外の児童福祉施設を知り、児童福祉施設での保育士の役割への理解を深める

(授業の概要)

保育士が働くことができる施設について理解を深め、実際に施設での保育士の職務の役割を知る。また 福祉施設での子どもの様子を知る。

(授業計画)

児童福祉施設の役割を理解する

実習に向けての心構えを考える

施設実習の流れと諸注意を理解する

実習日誌の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行ない、実習先の施設の概要を知る

施設での流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

施設での保育士の配慮事項を知り、保育士という職務の理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

より深く理解できる施設実習

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習日誌20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名（担当者：新崎清美）	単位数	学習形態
童謡（弾き歌い）	3単位（90時間）	実技（キーボード）指導

・授業のテーマ

*数多くある「童謡」をピアノで伴奏し、歌い、指導する。

・授業の概要

- 1.指定された曲を練習し、歌詞を覚えて、弾き歌いへと導く。
- 2.グループでの全体指導の後、個別指導を行う。

・授業計画

1年生… 一日の始まり～終わりまで。誕生会、お弁当会等、その月に関わる歌を目標として、練習する。

2年生… 四季を通して季節～
その行事に関わる曲を完成する。

※どちらの学年も最終目標は、「ピアノ 楽譜を見ずに」子供の表情を観察しながら指導できる！！を目指しています。

・テキスト

幼児のうた100曲

・参考書・参考資料

曲により私の本からのコピー等

・学生に対する評価

月一回の弾き歌いのテストを実施する。

↓

◎ピアノが弾けている。 声を出して歌えている。 ピアノと声楽のバランスが良く
仕上がっている。

授業科目名（担当者：ストワーズ千里）	単位数	学習形態
個別ピアノ（全学年）	1コマ/週（通年）	実技（ピアノ）

・授業のテーマ

- *3年生/4年生：小学校「音楽」の教科書より、文部省唱歌を中心に（過去問題も含め）ピアノを演奏し、弾き歌いで教員採用試験に備える。
- *1年生/2年生：「保育のうた」より、保育園、幼稚園で演奏する曲を中心にピアノを演奏し、弾き歌いで、教育実習とスクーリング試験に備える。

・授業の概要

- 1.指定された曲を練習し、細かい技法まで徹底して指導する。
- 2.グループでの全体指導の後、個別指導を行う。

・授業計画

- 前半… 全体練習（ゆびの体操/練習曲1.反進行旋律 2.ユニゾン旋律 3.ハ長調長音階）
1～2年スクーリング課題曲：「やぎさんゆうびん」「おばけなんてないさ」
「せんせいとおともだち」
3年スクーリング課題曲：「うみ」「ふるさと」
全体課題曲：「バイエル第29番/第55番/第96番/第102番」

後半… 個別指導（1名30分*2名/1限）

- * 課題曲および苦手部分の指導
- * 復習（おさらい）
- * まとめ
- * テスト

※最終目標は、どちらの学年も、個人にあった弾き方で楽しみながら、子どもの表情を観察しつつ、一緒に歌いながら止まらず弾ける！を目指します。

・テキスト

幼児のうた100曲/豊岡教科書/小学校音楽教科書/姫路大学教科書より

・参考書・参考資料

これなら弾ける！ピアノ伴奏160/教員採用試験過去問

・学生に対する評価

出席率/実技テスト/授業態度より総合的に評価

授業科目名 (担当者：ストワーズ千里)	単位数	学習形態
教採音楽 (3年生)	2コマ/週 (通年)	座学 (楽典) /実技 (リコーダー)

・授業のテーマ

小学校「音楽」の教科書より、文部省唱歌を中心に（過去問題も含め）リコーダーを演奏し、教員採用試験に備える。

小学校「音楽」の教科書より楽典を中心に基礎知識を深める。

・授業の概要

1.指定された曲を練習し、細かい技法まで徹底して指導する。

2.グループでの全体指導の後、個別指導を行う。

3.実技と座学を交互に入れる。

・授業計画

1限目… 実技練習 (文部省唱歌及びスクーリング課題曲「星に願いを」)

2限目… 座学 (楽典/学習指導要領)

* 12.楽器 (B) リコーダー運指 (ジャーマン式)

* 3.譜表・音符と休符

* 5.音階と調 (A)

* 10.歌唱共通教材 (A)

* 7.音楽の形・記号 (A)

* 4.拍子と音程 (B)

* 6.和音 (A)

* 11.鑑賞教材 (B)

* 1.音楽科の目標と内容 (A)

* 8.西洋の音楽家 (B)

* 9.世界と日本の音楽 (C)

* 2.音楽科の指導計画の作成と内容の取扱い (C)

* 復習 (おさらい)

* まとめ

* テスト

* 解答解説

※最終目標は、楽譜を見ずに演奏する (2部構成まで) ・リズムカウントを取る・指揮ができる！を目指しています。

・テキスト

幼児のうた100曲/小学校音楽教科書/姫路大学教科書より

・参考書・参考資料

これなら弾ける！ピアノ伴奏160/教員採用試験過去問

・学生に対する評価

出席率/実技テスト/座学テスト/授業態度より総合的に評価

授業科目名（担当者：ストワーズ千里）	単位数	学習形態
教採家庭科（3年生）	2コマ/週（通年）	座学（基礎知識） 実技（道具の使い方等）

・授業のテーマ

小学校「家庭科」の教科書より、基礎知識を中心に（過去問題も含め）復習し
教員採用試験に備える。
道具の使い方を中心に基礎知識を深める。

・授業の概要

1. 実用可能な物を作成し、道具の使い方など細かい技法まで徹底して指導する。
2. グループでの全体指導の後、個別指導を行う。
3. 実技と座学を交互に入れる。

・授業計画

- 1限目… 実技練習（道具の使い方 針と糸）
- * リコーダー掃除布（なみ縫いとリボンつけ）
 - * 父の日プレゼント コースター（刺し子 なみ縫いと ふちかがり）
 - * ボタンつけ
 - * あみもの
 - * クラフトテープあみ
- 2限目… 座学（基礎知識/学習指導要領）
- * 3.手縫い・ミシン縫い（A）
 - * 4.食品（A）
 - * 7.消費生活（A）
 - * 2.衣服とその手入れ（B）
 - * 5.日常食の調理（B）
 - * 9.住居・保育（B）
 - * 6.食品の選択と安全（C）
 - * 8.エコライフ（C）
 - * 1.家庭科の目標と内容（A）
 - * 復習（おさらい）
 - * まとめ
 - * テスト
 - * 解答解説

※最終目標は、家庭科の子供たちへの指導及び、採用試験での合格点

・テキスト

教員採用試験過去問等

・参考書・参考資料

教員採用試験過去問等

・学生に対する評価

出席率/実技テスト/座学テスト/授業態度より総合的に評価

授業科目名(授業者 乾 芳壽)	単位数(授業時数)	学習形態
世界教育史	1 単位 (15 時間)	講義
実務教員	○ 実務教員の紹介	公立学校教職員の実務経験がある教員が行なう授業

授業のテーマ

現在の教育が世界をはじめ我が国のこれまでの教育の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考える見方や方法を概観する。とくに本授業は、西洋の教育史を通して、現代日本の教育について歴史的に考察する力を養う。

授業の概要

政治や経済の影響を受けながら教育は独自の領域を歴史に刻んでいる。各時代における教育の役割と機能を明らかにしつつ、現在の教育を見直す試みを行う。西洋の教育について通史的な理解を深める。とくに近代日本の教育がヨーロッパやアメリカの教育に多大な影響を与えられていることを明らかにして現在の教育を考察する。

授業計画

1. 古代ギリシアとローマの教育
2. 中世の教育
3. コメニウスの教育
4. ロックとコンドルセの教育
5. ルソーの教育
6. ペスタロッチの教育
7. 幼稚園の創設者フレーベルの教育
8. 国民教育の思想家ヘルバルトの教育
9. 産業革命とオーエンの教育
10. 科学的教育方法とモンテッソーリ
11. 民主主義の教育思想とデューイ
12. シュタイナーの教育
13. 精神科学的教育学の教育者たち
14. 新教育以後の教育思想家たち
15. イヴァン・イリイチの教育論

テキスト

今井康雄『教育思想史』有斐閣
山崎英則『西洋の教育の通史』ミネルヴァ書房

参考書・参考資料

教育史参考文献(その都度印刷して提供)

学生に対する評価

学習状況の確認: レポート課題において思考表現により評価する。
科目の成績評価: 科目試験の成績により判定し評価する。

授業科目名(担当者 乾 芳壽)	単位数	学習形態
日本教育史	1 単位 (15 時間)	講義
実務教員 ○	実務教員の紹介	公立学校教職員の実務経験がある教員が行う授業

授業のテーマ

現在の教育が世界をはじめ我が国のこれまでの教育の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考える見方や方法を概観する。とくに本授業は、日本の教育史を通して、現代日本の教育について歴史的に考察する力を養う。

授業の概要

政治や経済の影響を受けながら教育は独自の領域を歴史に刻んでいる。各時代における教育の役割と機能を明らかにしつつ、現在の教育を見直す試みを行う。我が国の教育について通史的な理解を深める。日本教育の歩みを通して現在の教育を考察する。

授業計画

1. 古代・中世の教育
2. 近世の教育と寺子屋
3. 私塾の教育家たち①
4. 私塾の教育家たち②
5. 近代の教育と福沢諭吉
6. 教育勅語の思想系譜
7. 大正新教育①
8. 大正新教育②
9. 大正新教育③
10. 戦前から戦後へ
11. 幼稚園の成立と普及、発展
12. 保育制度改革
13. 保育要領と幼稚園教育要領
14. ジェンダーと女子教育
15. 日本教育史の視点

テキスト

今井康雄『教育思想史』有斐閣

参考書・参考資料

教育史参考文献(その都度印刷して提供)

学生に対する評価

学習状況の確認: レポート課題において思考表現により評価する。

科目の成績評価: 科目試験の成績により判定し評価する。

授業科目名(担当金城永太郎)		単位数	学習形態(方法)
図画工作		1 単位 (15 時間)	講義・問題演習
実務教員	○	実務教員の紹介	保育園及び児童福祉施設の実務経験がある教員が行う

授業のテーマ

造形の基礎・基本、表現技法の在り方などを学ぶ。また、こどもの絵の表現の発達の道筋をたどりながら、児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、こどもが楽しく造形活動ができる教材の在り方、支援の仕方、指導の在り方について考えに入れる。

授業の概要

こどもの造形表現や発達をイメージしながら、造形の基礎・基本が身につく、実際の図画工作指導に役立つ内容を展開する。透視図法の種類、児童の造形能力の発達段階、色彩学に関する基礎事項、モダンテクニック、小学校段階で使用する用具や製作の手順、安全面での配慮事項、日本美術、西洋美術などについて理解する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 小学校「図画工作」の教材・指導
3. 発達段階と表現の変遷
4. 絵画
5. モダンテクニック・オートマティズム
6. 色彩
7. デザイン
8. 版画
9. 彫刻・焼き物
10. 木工芸
11. 用具の取扱い
12. 日本美術
13. 西洋美術
14. こどもの造形表現の鑑賞
15. まとめ

テキスト

『教員採用試験 小学校全科らくらくマスター』舞田敏彦著 実務教育出版
『教員採用試験対策 参考書 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版
『教員採用試験対策 問題集 専門教科小学校全科』東京アカデミー編 七賢出版

参考書・参考資料

必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価・基準

学習状況の確認: レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価: 科目試験により評価

授業科目名(担当 喜屋武光代)		単位数	学習形態(方法)
野外活動実践演習		3単位 (90時間)	演習
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験のある教員が行う授業

授業のテーマ

自然体験、集団活動、直接体験が不足していることが危惧され、文部科学省は青少年への自然体験活動の更なる充実を方針化している。そのため、小学校教員には、子どもたちの自然体験活動を企画、運営、支援・指導する能力がより求められる。

授業の概要

自然体験活動やレクリエーション活動の基礎を学ぶとともに、演習を通して直接体験し、小学校教員・幼稚園教員・保育士となった際に子どもたちの体験活動を支援・指導できる素地を養う。また、たくましさ・自主自立・協力する心・自然を愛する心を養う。

授業計画

1. オリエンテーション(内容、評価等に関する説明)
- 2-6. スケジュール・プログラム作成
- 7-11. 青少年の家での打ち合わせ・実地踏査
- 12-16. しおり内容の検討及び作成役割分担
- 17-21. 活動班編成
- 22-26. テント班編成
- 27-31. 青少年の家との調整・連絡
- 32-36. 持ち物表作成
- 37-41. 申込書類作成
- 42-46. 青少年の家での打ち合わせ
- 47-51. しおり作成
52. 参加学生(1年生)への説明会
- 53-54. 買い出し
- 55-59. しおり作成
- 60-64. 最終確認(模擬演習)
- 65-86. 青少年の家での実践演習
87. 振り返り
- 88-90. 発表原稿作成(新聞・動画等)

テキスト

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』

参考書・参考資料

前年度までのしおり、申込書等の書類や写真、ビデオなど

学生に対する評価・基準

授業態度、意欲、企画・運営、書類作成、準備、打ち合わせ、模擬演習、実践演習、新聞作成等を総合的に判断する。

授業科目名(担当者 喜屋武光代)	単位数	学習形態
小学校学習支援	2単位(40時間)	実習

授業のテーマ

小学校において、学習支援をすることで、児童との会話や遊びの中あるいは、教職員の児童に対する指導方法を見て学ぶ機会とする。小学校教員を目指す学生にとって貴重な経験になる実習である。

授業の概要

希望する小学校で学習支援を行う。実習の形態は観察・1日4時間の10日間・計40時間とする。

授業計画

小学校学習支援の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習先の小学校と事前にオリエンテーションを行い、実習先の小学校の概要を知る

小学校の授業に入り、学習支援をしたり、授業を観察したりして、指導方法や子どもの実態を知る中で小学校教員の職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

参考書・参考資料

『教育実習事前・事後指導(小学校)』姫路大学教育学部通信教育課程

『教員をめざすための特別支援教育入門』大塚玲 編著 萌文書林

講師配布資料

学生に対する評価

実習先の評価40%

実習感想簿40%

実習前後指導への取り組み方20%

授業科目名 (授業者 吉浜幸雅)	単位数 (授業時間数)	学習形態(方法)
教採体育	1 単位(1 6 時間)	講義、演習、実習
実務教員	○	実務教員の紹介
公立学校教職員として実務経験がある教員が行う授業		
<p>授業のテーマ(到達目標を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科に関する基礎的な理解をもとに、体育科指導の目標、内容、方法、及び評価の実際を具体的に理解することができる。 ・実技を通して、実際に子供たちに指導するときに、安全への配慮、緊急な事故への備えについて指導する。 ・主として沖縄県教員採用試験 2 次の実技種目を基に実技を通して採用試験合格をめざす。 <p>授業の概要(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育科に関して、今日的課題を考えながら授業づくりの実際について主に実技を通して考えていく。 <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスの説明 2 準備運動と整理運動(運動の違いと説明のポイント) 3 マット運動①(前転の基本、開脚前転、補助倒立前転等) 4 マット運動②(後転の基本、開脚後転、補助倒立ブリッジ、側方倒立回転、ロンダート等) 5 マット運動③(教員採用試験課題の実演とテスト) 6 鉄棒運動①(鉄棒運動・遊び、前回り下り、かかえ込み下り、足掛け振り上がり等) 7 鉄棒運動②(膝掛け振り上がり、補助逆上がり、逆上がり等) 8 鉄棒運動③(教員採用試験課題の実技とテスト) 9 跳び箱運動①(跳び箱を使った運動遊び、開脚跳び、台上前転等) 10 跳び箱運動②(跳び箱を使った運動遊び閉脚飛び) 11 跳び箱運動③(教員採用試験課題の実演とテスト) 12 水泳運動①(水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く・けのび等) 13 水泳運動②(クロール) 14 水泳運動③(平泳ぎ) 15 水泳運動④(水泳指導の安全確保と安全につながる運動) 16 水泳運動⑤(教員採用試験課題の実技とテスト) <p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 体育編』 <p>参考書・参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>学生に対する評価・基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講態度、意欲、技術習得度を総合して評価する。 ・各運動の終了時に課題を与え、達成度を評価する。 		

教科名(授業者 美里 勉)		単位数(授業時数)	学習形態(方法)
教採算数		2単位(80時間)	講義、演習
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験のある教員が行う授業

授業のテーマ(到達目標を含む)

- ・沖縄県小学校教員採用試験「算数科」に対する試験対策を行う。
- ・講義、演習を通して、教員採用試験の算数、数学の出題を解答する力をつける。特に本講義は基礎・基本となる内容を定着することを第1義とする。

授業の概要(内容)

- ・教員採用試験において必要となる基礎・基本部分に焦点をあて解答する。

授業計画

- 1 シラバス、授業計画、ノートの整理の仕方等基本の説明
- 2 四則計算と正負の計算(計算の順番ルール)
- 3 小数・分数の計算(小数のかけ算、割り算と分数の四則計算)
- 4 文字と式、式の展開(文字式の計算の考え方、分配法則)
- 5 因数分解(因数分解の考え方)
- 6 実力テスト(第1回～第5回の学習確認テスト)
- 7 倍数と約数(倍数、約数の考え方)
- 8 素数と素因数分解(素数の考え方、素因数分解の解法)
- 9 実力テスト(第6回～第8回の学習確認テスト)
- 10 最小公倍数と最大公約数(最小公倍数と最大公約数の2通りの解法)
- 11 数列(n番目の数の解法、数f列の和の求め方)
- 12 平方根(平方根のたし算・ひき算の解法、かけ算の解法)
- 13 実力テスト(第9回～第12回の学習確認テスト)
- 14 1次方程式の解き方(移項の考え方、Xの係数の取り方)
- 15 1次方程式の文章題(1次方程式の考え方)
- 16 比と比の文章題(比の考え方、文章題の解法)
- 17 割合(割、分、%の考え方、割り増・割り引の解法)
- 18 連立方程式(加減法と代入法の解法)
- 19 不等式(不等式の考え方)
- 20 実力テスト(第1回～第20回の学習確認テスト)実施方法の説明
- 21～80 学習確認のテストと解答及び解説

テキスト

- ・講師の作成したプリント

参考書・参考資料

- ・誠伸社版 沖縄県統一プレ入試問題集

学生に対する評価・基準

- ・学習意欲、授業態度、問題解決能力に基づき評価する。
- ・実力試験(講師作成)の結果に拠り評価する。

授業科目名 (授業者 乾芳壽)	単位数(授業時数)	学習形態(方法)																														
教採国語	2単位(60時間)	講義、演習																														
実務教員	<input type="radio"/> 実務教員の紹介	公立学校教職員の実務教員のある教員が行う授業																														
<p>授業のテーマ(到達目標を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県小学校教員採用試験「国語科」に対する試験対策を行う。 ・講義、演習を通して、教員採用試験の国語科の出題を解答する力をつける。 <p>授業の概要(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科の基礎学力を身に付ける。 ・実力テストの時間に教員採用試験過去問題を解答する。 <p>授業計画</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 二字熟語の読みの練習</td> <td>16 同(自立語と付属語・品詞の見分け方)</td> </tr> <tr> <td>2 熟字訓の練習</td> <td>17 俳句・短歌・詩</td> </tr> <tr> <td>3 三字熟語の練習</td> <td>18 文学史(万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集)</td> </tr> <tr> <td>4 古典・宗教・動植物の漢字の練習</td> <td>19 文学史②(中世と近世の文章)</td> </tr> <tr> <td>5 類義語・対義語</td> <td>20 漢文の基本・漢詩①(漢詩の基本)</td> </tr> <tr> <td>6 四字熟語</td> <td>21 同(唐詩・唐代以降の詩)</td> </tr> <tr> <td>7 小説文・説明文の読解練習1</td> <td>22 古文(枕草子・平家物語)</td> </tr> <tr> <td>8 頻出二字熟語の書き取り練習</td> <td>23 同(徒然草・奥の細道)</td> </tr> <tr> <td>9 同音異字・同訓異字の書き取り練習</td> <td>24 近現代の文学と沖縄県過去問題①</td> </tr> <tr> <td>10 間違えやすい漢字書き取り練習</td> <td>25 説明文と沖縄県過去問題①</td> </tr> <tr> <td>11 ことわざ・故事成語</td> <td>26 国語の模擬試験①</td> </tr> <tr> <td>12 小説文・説明文の読解練習</td> <td>27 沖縄県国語問題過去問題</td> </tr> <tr> <td>13 慣用句</td> <td>28 実力テスト</td> </tr> <tr> <td>14 ことわざ・故事成語</td> <td>29 小説文・説明文のまとめ</td> </tr> <tr> <td>15 現代文法・品詞の分類(体言・用言)</td> <td>30 国語の模擬試験②</td> </tr> </tbody> </table> <p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京アカデミー編『教員採用試験対策』 ・沖縄県教員採用試験過去問題集 ・講師作成資料 <p>参考書・参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領国語科解説 <p>学生に対する評価・基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲、授業態度に基づき評価する。 ・定期的模擬試験、実力試験(講師作成)の結果に拠り評価する。 			1 二字熟語の読みの練習	16 同(自立語と付属語・品詞の見分け方)	2 熟字訓の練習	17 俳句・短歌・詩	3 三字熟語の練習	18 文学史(万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集)	4 古典・宗教・動植物の漢字の練習	19 文学史②(中世と近世の文章)	5 類義語・対義語	20 漢文の基本・漢詩①(漢詩の基本)	6 四字熟語	21 同(唐詩・唐代以降の詩)	7 小説文・説明文の読解練習1	22 古文(枕草子・平家物語)	8 頻出二字熟語の書き取り練習	23 同(徒然草・奥の細道)	9 同音異字・同訓異字の書き取り練習	24 近現代の文学と沖縄県過去問題①	10 間違えやすい漢字書き取り練習	25 説明文と沖縄県過去問題①	11 ことわざ・故事成語	26 国語の模擬試験①	12 小説文・説明文の読解練習	27 沖縄県国語問題過去問題	13 慣用句	28 実力テスト	14 ことわざ・故事成語	29 小説文・説明文のまとめ	15 現代文法・品詞の分類(体言・用言)	30 国語の模擬試験②
1 二字熟語の読みの練習	16 同(自立語と付属語・品詞の見分け方)																															
2 熟字訓の練習	17 俳句・短歌・詩																															
3 三字熟語の練習	18 文学史(万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集)																															
4 古典・宗教・動植物の漢字の練習	19 文学史②(中世と近世の文章)																															
5 類義語・対義語	20 漢文の基本・漢詩①(漢詩の基本)																															
6 四字熟語	21 同(唐詩・唐代以降の詩)																															
7 小説文・説明文の読解練習1	22 古文(枕草子・平家物語)																															
8 頻出二字熟語の書き取り練習	23 同(徒然草・奥の細道)																															
9 同音異字・同訓異字の書き取り練習	24 近現代の文学と沖縄県過去問題①																															
10 間違えやすい漢字書き取り練習	25 説明文と沖縄県過去問題①																															
11 ことわざ・故事成語	26 国語の模擬試験①																															
12 小説文・説明文の読解練習	27 沖縄県国語問題過去問題																															
13 慣用句	28 実力テスト																															
14 ことわざ・故事成語	29 小説文・説明文のまとめ																															
15 現代文法・品詞の分類(体言・用言)	30 国語の模擬試験②																															

授業科目名(担当 喜屋武光代)	単位数	学習形態(方法)
教採 教育時事	2単位 (30時間)	講義・問題演習
実務教員	○ 実務教員の紹介	公立学校教職員の実務経験がある教員が行なう授業

授業のテーマ

社会における教育動向について興味関心を持ち学ぶ上で必要となる最低限の時事ワードの基礎的事項について内容を理解し、現代社会が求める子供の育ちを想像することが出来る。

授業の概要

教育動向に関する社会的背景を理解し、今求められる教育について解説する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 個別最適・協働的な学び
3. GIGA スクール下における校務の情報化
4. 主体的に学習に取り組む態度
- 5・6. 生徒指導提要
7. 幼保小のかけ橋プログラム
8. こども家庭庁
9. こども基本法
10. 部活動の地域移動
11. STEAM 教育
12. 探求学習の意義
13. これからのコミュニティー・スクール
14. 公務員の定年延長
15. ヤングケアラーの実態
16. こどもの貧困
17. ジェンダー平等教育
18. 演習問題1
19. 演習問題2
20. 演習問題3
21. 演習問題4
22. 演習問題5
23. 演習問題6
24. 演習問題7
25. 演習問題8
26. 演習問題9
27. 演習問題10
28. 演習問題11
29. 演習問題12
30. 演習問題13

テキスト 考書・参考資料

『最新教育動向2023教育の未来を研究する会 明治図書
『教員採用試験対策 教職教養』東京アカデミー編 七賢出版

学生に対する評価・基準

学習状況の確認:レポート課題において教育法規の概要の理解度
科目の成績評価:科目試験により評価

授業科目名(担当者 喜屋武光代)		単位数	学習形態
学童保育実習		1単位(40時間)	実習
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員の実務経験がある教員が行なう授業
<p>授業のテーマ</p> <p>学童(児童クラブ)で児童と活動を共にすること、また学童職員の職務を間近で見て学ぶ。小学校教員を目指す学生にとって貴重な経験になる実習である。</p> <p>授業の概要</p> <p>希望する学童(児童クラブ)で保育実習を行う。実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする。</p> <p>授業計画</p> <p>学童(児童クラブ)の役割を知る 実習に向けての心構えを理解する 実習の流れと目的や諸注意を理解する 実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ 実習先の学童と事前にオリエンテーションを行い、実習先の学童の概要を知る 保育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る 学童職員の配慮事項を知り、職務について理解を深める 保育実習を行う 実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う</p> <p>参考書・参考資料</p> <p>教育実習事前・事後指導(小学校) 講師配布資料</p> <p>学生に対する評価</p> <p>実習先施設の評価60% 実習感想簿20% 実習事後指導への取り組み方20%</p>			

授業科目名(担当 吉浜幸雅)		単位数	学習形態(方法)
論作文		1 単位 (15 時間)	講義、演習
実務教員	○ 実務教員の紹介	教職員として実務経験がある教員が行なう授業	
<p>授業のテーマ(到達目標を含む) 論作文は教員として求められている資質や能力が備わっているかどうか判断する上で、重要なものの一つである。論作文において、与えられた課題についての認識の深さ、課題解決力や指導力、論理的思考力、文章表現力、教育に対する情熱や愛情、教師としての使命感や意欲、人間性などをみることができる。これらはいずれも教員としての職務をよりよく遂行し、今日的な学校教育の様々な課題を解決していくうえで欠かすことのできない大切な資質や能力である。</p> <p>授業の概要(内容) 筋道の通った良い論作文を書くため、文章の修練を重ね表現力を高める。より良い論作文の書き方を身に付け、論理的で、教育への使命感や子どもへの愛情がにじみ出た筋道の通った論作文を書けるよう、学習していく。</p> <p>授業計画 1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明) 2. 論作文の基礎・基本 3. 論作文のテーマ分類 4. 論作文の課題例 5. 論作文の型、キーワード等 6. 序論の作成 7. 柱と論例策の作成 8. 添削後の指導・アドバイス 9. 論作文例を読み解く 10. 添削後の指導・アドバイス 11. 論作文例との比較 12. 添削後の指導・アドバイス 13. 論作文作成 14. 添削後の指導・アドバイス 15. まとめ</p> <p>テキスト 特になし</p> <p>参考書・参考資料 『教員採用試験 αシリーズ 教育論作文』沖山吉和 一ツ橋書店 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>学生に対する評価・基準 授業態度、学習意欲、論作文、添削後の再論文等を総合的に判断する。</p>			

社会科 シラバス

科目番号	30003	学期	前期	担当教員
科目名	社会科	学年	3年	初鹿野 修
単位数	2	人数		
<p>1, 授業の概要 社会科の基盤と変遷、方法原理、評価の理論、授業づくり、学習指導方法等の理論について学ぶ</p> <p>2, 到達目標 小学校における教科指導、特に「主体的・対話的な深い学び」を表現する授業改善の視点 やICT活用・学び合いに関する基本的な知識を身に付けることができる</p> <p>3, 授業の計画と内容</p>				
コマ数	内 容			備 考
1	小社会科の目標・実践知			
2	小社会科のカリキュラム構造と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善			
3	学習指導計画作成 3年・4年・5年・6年			
4	現代社会の背景と特質			
5	社会科の授業デザイン			
6	社会科教育の授業実践： 産業学習の事例 稲づくりの準備①（バケツ稲づくりの苗床づくり） ①種もみを水につける・・・なぜ？ ②沈んだ種もみを、苗床にまく・・・芽が出るまで水等の管理			
7	社会科教育の授業実践：地域学習の教材研究から授業づくり			
8	優れた授業実践：DVD私の社会科授業づくり①			
9	社会科教育の授業実践 3年			
10	社会科教育の授業実践 4年			
11	社会科教育の授業実践 5年			
12	社会科教育の授業実践 6年			
13	優れた授業実践：DVD私の社会科授業づくり②			
14	優れた授業実践：DVD私の社会科授業づくり③			
15	社会科教に求められる資質			
16	授業の振り返り・まとめ			

社会科指導法 シラバス

科目番号	20020	前期	担当教員
科目名	社会科指導法	3年	初鹿野 修
単位数	2		
<p>1, 授業の概要</p> <p>学習指導要領における社会科の目標と内容について解説したのち、社会科の基本的な方法原理「問題解決」「理解」「説明」「議論」について、具体的な授業実践事例として学びを深める。さらに、社会科の学力・評価理論、教材研究の理論、学習指導の具体的な方法等について学びを深める。</p> <p>以上を通して模擬授業を実施し、授業設計を行うことのできる実践的な能力を身に付ける。</p> <p>2, 到達目標</p> <p>小学校社会科教育の理論と実践について、①社会科授業の構想 ②学習指導案の作成 ③模擬授業の実施 ④授業改善案の作成 ⑤教具・教材の活用の5つの視点から学修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標・内容を理解する ・社会科の基礎的方法原理「問題解決」「理解」「説明」「議論」を理解する ・具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる <p>3, 授業の計画と内容</p>			
	内 容		備 考
1	学習指導要領における社会科の目標と内容		
2	社会科論の学び		
3	小学校3年の実践に学ぶ：地域学習		
4	小学校4年の実践に学ぶ：地域学習		
5	小学校5年の実践に学ぶ：産業学習・国土防災学習		
6	小学校6年の実践に学ぶ：政治学習・政治学習		
7	授業のリフレクションの仕方・授業改善に向けて		
8	指導案の作成について		
9	指導案の作成①		
10	指導案の作成②		
11	指導案の作成③		
12	予備時間		
13	振り返り		
14	縄文土器づくり スクーリングにつなぐ		
15	まとめ		

社会科 シラバス

科目番号	30003	学期	前期	担当教員
科目名	社会科	学年	3年	初鹿野 修
単位数	2	人数		
実務教員	○ 実務教員の紹介		公立学校 教職員として実務経験のある教員が行なう	
<p>1, 授業の概要</p> <p>学習指導要領における社会科の目標と内容について解説したのち、社会科の基本的な方法原理「問題解決」「理解」「説明」「議論」について、具体的な授業実践事例として学びを深める。さらに、社会科の学力・評価理論、教材研究の理論、学習指導の具体的な方法等について学びを深める。以上を通して模擬授業を実施し、授業設計を行うことのできる実践的な能力を身に付ける。</p> <p>2, 到達目標</p> <p>小学校社会科教育の理論と実践について、①社会科授業の構想 ②学習指導案の作成 ③模擬授業の実施 ④授業改善案の作成 ⑤教具・教材の活用 の5つの視点から学修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標・内容を理解する ・社会科の基礎的方法原理「問題解決」「理解」「説明」「議論」を理解する ・具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる 				
2 授業の計画と内容				
コマ数	内 容			備 考
1	学習指導案の確認・修正			
2	授業デザイン			
3	模擬授業 授業構成			
4	模擬授業			
5	模擬授業			
6	模擬授業			
7	模擬授業			
8	模擬授業			
9	授業リフレクション			
10	まとめ			
11	まとめ			
12	単位認定試験			

授業科目名(担当 喜屋武光代)	単位数	学習形態(方法)
教育法規	2単位 (30時間)	講義・問題演習
実務教員	○	実務教員の紹介 公立学校教職員の実務経験がある教員が行なう授業

授業のテーマ

教育法規は教育に係る多様な法の体系、日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、教育公務員特例法等を指している。教育に関わる法的な問題は、全てこれらの法令により処理されている。本授業では、教育法規を学ぶ上で必要となる最低限の法的知識について、また学校教育に関わる必要最低限の教育法規に絞って、その骨格と特徴について理解する。

授業の概要

教育に関する法規を理解できるようにする。法令の読み方、法源と法体系、法律用語の基礎知識を確認し、各教育法規の条文・内容を解説する。

授業計画

1. オリエンテーション(授業の内容、評価等に関する説明)
2. 法令の読み方
3. 法源と法体系
4. 法律用語の基礎知識
5. 日本国憲法
- 6・7. 教育基本法
8. 教育を受ける権利
9. 義務教育
10. 教育の中立性
11. 学校とは
12. 各学校の目的・目標
13. 学校の設備
14. 学級の編成
15. 教育活動の日程
16. 学校保健
17. 教科書・著作権
18. 開かれた学校運営
19. こどもの就学、就学に関する業務
20. 懲戒
21. 健康診断と感染症予防
22. 指導要録と出席管理
23. 児童・生徒の保護
24. 児童憲章、児童の権利に関する条約
25. 教職員の配置・職務・任用
26. 教員免許状
27. 教員研修
28. 教員の服務・処分・勤務規則
29. 教育委員会
30. まとめ

テキスト

『教員採用試験 教職教養らくらくマスター』舞田敏彦著 実務教育出版
『教員採用試験対策 問題集1 教職教養』東京アカデミー編 七賢出版

参考書・参考資料

『図解・表解 教育法規』坂田仰 黒川雅子 河内祥子 山田知代著 教育開発研究所

学生に対する評価・基準

学習状況の確認: レポート課題において理解、思考表現により判定
科目の成績評価: 科目試験により評価

講座名：教職論 豊岡短期大学

テキスト：教職論 豊岡短期大学

参考文献：「保育所保育指針解説」：フレーベル館 厚生労働省編

「幼稚園教育要領解説」：フレーベル館 文部科学省編

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」：フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編

授業ガイダンス

- 授業の目的：1、教育という仕事に携わる者として、理解しておかなければならない最も基本的なことについて学ぶ
- 2、教育現場における課題と教員の関わりを深める
- 3、教職（保育）者に求められる役割や資質・能力、法的な位置づけについて理解深める
- 4、親（保護者）との信頼関係を築くことの大切さや、その方法について理解を深める

- 授業のポイント
- 1、教職の意義の理解
 - 2、教員養成の歴史の理解
 - 3、教員の任用とサービスの理解
 - 4、教職（保育）者の仕事の理解
 - 5、教職（保育）者の資質向上と研修についての理解
 - 6、教育実習の理解
 - 7、教職（保育）者の資質と役割の理解
 - 8、教育を取り巻く環境や課題の理解

評価方法：①平常点（出席・授業態度）

②設題1のレポート

③設題2のレポート

④試験

設題の問いと答えの整合性：訊かれたことに答える
自分の意見を自分の言葉で表現する

レポートを出す・試験は60点以上が必須

①～④を総合して評価する

講義予定：

回	日付	学 習 内 容
1		<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーション・授業ガイダンス ● 教職論の概要を知る ● 教育者（保育者）を目指した動機・どんな子供を育てたいか
2		第1章 保育（教職）とは何か 第2章 教職（保育者）に求められる資質・能力 ●私の保育者（教育者）像・・・試 「保育（教育）の目標を達成する資質能力をどう高めるか」 ～限られた時間（2か年）の中で～ 資質能力→物事を多面的に考え、豊かなこどもに育てる保育者（教育者）になる →視点を移動し多面的に見て、オリジナリティーを持てるようにする →保育者（教育者）が自立的でなければ、個性豊かで創造的なこどもは育たない。子どもは教師以上には伸びない ●今求められる教員の資質・・・レポート①
3		第6章 教職（保育）者の仕事・義務・研修

		●多面的に考える・・視点の移動
4		第 9 章 教職者の任用と服務・・・・教育原理 第10章 教育（保育）現場における子どもとの関わり ・・・教育原理 ●考えることの基本（1）帰納法と演繹法
5		第11章 教育（保育）現場における家庭との連携・支援・地域との連携 ●考えることの基本（2）水平思考と垂直思考 水平思考とイメージ・マップ 「子どもの良さ・子どものすばらしさ」
6		第 3 章 教員（保育）養成の歴史 第12章 教職（保育）観の変遷と教員（保育者）の役割 ●歴史と3つの教職観
7		第 4 章 教員（保育者）に求められる資質 ●保育士・幼稚園教諭 ●保育士の役割
8		第 7 章 教職（保育）者の職場環境 ● 幼稚園・保育所の目的等 第 8 章 教職者の制度的な位置づけ ●幼稚園設置基準・保育所設置基準
9		第13章 職員間の連携、保育園、幼稚園、小学校との連携 ・・・教育原理 ●教職の意義と教育者（保育者）の役割：様々な教師の言葉から考える
10		第14章 今日的な教育課題に対応するために
11		第14章 今日的な教育課題に対応するために
12		第14章 今日的な教育課題に対応するために
13		第15章 よい教育（保育）者になるために
14		第13章 学び合う保育者
15		●教職論のまとめ

科目番号	豊岡短大32010	開講学期	前期	担当教員： 初鹿野 修
科目名	教育原理	受講学年	こども未来1年	
単位数	2	登録人数		
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験者行う授業	

1、授業の概要

教育の基本的概念、理念、歴史及び思想について学ぶことにより、どのように教育及び学校が営まれ、変遷してきたかを理解する。また、現代の学校教育に関する社会的及び制度的な仕組みを学ぶことにより、学校と地域の連携及び学校安全に関する意義や必要性を理解する。

2、到達目標

教育原理に関する知識を習得・整理するとともに自分の意見を持つことができる。教育原理に関する体系的な知識を習得し、それに対する自分の意見を持ち、文章で表現することができる。

3、授業の計画と内容

第1週	オリエンテーション・教育・教育原理の意義・目的・特性と子ども家庭福祉等との関連性
第2週	世界の教育思想①ソクラテス〜ルソーの思想・実践
第3週	世界の教育思想②ヘルバルト〜デューイの思想・実践
第4週	日本の教育思想
第5週	子どもの発達と教育
第6週	子どもの権利
第7週	制度から見る保育所・幼稚園・認定こども園
第8週	内容から見る保育所・幼稚園・認定こども園
第9週	世界における教育の歴史的変遷
第10週	日本における教育の歴史的変遷
第11週	公教育制度、義務教育制度
第12週	教師という仕事、教授法
第13週	教育における今日的課題①学習指導要領の改訂に伴う幼児教育の変化
第14週	教育における今日的課題②危機・安全管理カリキュラム、アクティブラーニング
第15週	教育における今日的課題③学校外との連携

4、テキスト

教育原理（配本テキスト）・幼稚園教育要領概説・保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

5、成績評価の方法

学習状況の確認：レポート課題

科目の成績評価：試験

6、その他

なし

令和5年度卒業制作（カリキュラム）

授業名	：卒業制作		
授業担当者	：金城永太郎・平安山雅矢・喜屋武光代		
対象学生	：こども未来本科1年生		
実務教員	○	実務教員の紹介	教職員として実務経験者行う授業

【意義】

卒業制作は、専門学校で学んだ学業の集大成として学生自らが能動的に行い発表を行う場である。卒業制作の場合、作品と卒業制作の報告書を併せて、卒業制作とする。学生は自ら選んだテーマに沿って研究・開発・制作を行う。2年間で習得した知識を用いて研究・制作を行ない、その成果を発表する場とする。

【目的】

卒業制作の目的は2年間の学びの集大成としてテーマに沿って研究・実践したことを発表する場である。卒業制作においては学生相互活動の中で互いに認め合い高め合うことを目標とする。また、これまで実習等で関わりあった幼児を招待し発表する中で、子どもたちの成長を喜び保護者との交流を促す、ことをねらいとしている。2年間の学生生活の学びを实践するこの機会を子どもの感性を育てる上で大切なものだと実感してもらおう。

【テーマ】 ※2年生の想いを大切に決定する

「子どもたちを1番に楽しませSIBAの新しい歴史をつくる！」

【指導方針】

- 1年：次年度に行う課程とし、制作を部分的に参加・制作する。
- 2年：卒業制作を自主の課題とし、主体的に活動をまとめる
- 3年：卒業制作終了した経験を活かし教育者の立場として2年生をサポートする。
- 4年：卒業制作終了した経験を活かし教育者の立場として2年生をサポートする。

1. 内 容

- (1) 学生による実践発表
- (2) 卒業制作の冊子

2. 主 催

学校法人 尚学院 尚学院国際ビジネスアカデミー こども未来科

3. 開催年月日

- (1) 日時 令和5年2月15日（金）午前10：00～11：30
午後14：00～15：30

- (2) 場所 沖縄県立博物館・美術館2階

4. 参加対象及び参加申込み

- (1) 近隣（実習）の保育園・幼稚園の児童

- (2) 専門学校に興味のある方・小中高大学生・一般の方等
- (3) こども未来科の授業の教員



5, 卒業制作にかかる授業時数

1年	LHR	時間				
2年	卒業制作	137時間	こども文化	時間	LHR	時間
3年	LHR	時間				
4年	LHR	時間				

カリキュラム

5月	意義・目的の確認・役割決め
6月	意欲・態度の向上・発展
7月～2月	実戦・振り返り
11月	資料・広報確認
2月	振り返り・統括

授業概要（シラバス）

授業名	：図工		
授業担当者	：金城永太郎		
対象学生	：こども未来本科1年生		
実務教員	○	実務教員の紹介	教職員として実務経験者行う授業

■ 科目のねらい

この科目は、教育・保育の現場で実践するために必要となる基礎的な知識・技能の修得を目指して、専門教育科目の「保育・教育の理解」に区分されており、小学校教諭一種免許状の必修科目として配置している。

■ 授業の概要

学習指導要領における図画工作科の目標及び内容を理解するとともに、学習指導案の作成、授業準備、模擬授業の実施、振り返りを行うなど実践的に学ぶ。

■ 達成目標・到達目標

- ①学習指導要領における図画工作科の目標及び主な内容を理解し説明することができるようになる。
- ②学習指導内容について指導上の留意点および学習評価の考え方を理解することができるようになる。
- ③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した学習指導案を作成することができるようになる。
- ④模擬授業を実践でき、その振り返りを通して、改善の視点を身に付け授業を改善することができるようになる。

授業の流れ：

1回目	オリエンテーション
2回目	学習指導要領（図画工作科）の構成や概要
3回目	教材研究の目的と方法
4回目	学習評価について/評価の考え方
5回目	学習指導案の作成
6回目	指導案作成演習
7回目	第1学年を対象とした模擬授業の実施と省察
8回目	第2学年を対象とした模擬授業の実施と省察
9回目	第3学年を対象とした模擬授業の実施と省察
10回目	振り返りとディスカッション①
11回目	第11回 第4学年を対象とした模擬授業の実施と省察
12回目	第5学年を対象とした模擬授業の実施と省察
13回目	第6学年を対象とした模擬授業の実施と省察
14回目	振り返りとディスカッション②
15回目	まとめ

使用テキスト：講師オリジナル教材を準備する

評価方法：出席 80% 授業態度 20%

その他：特になし以上

授業概要(シラバス)

授業名	心理学		
授業担当者	金城 永太郎		
対象学生	こども未来本科1・2年		
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校の教職員として実務経験者行う授業

■ 科目のねらい

心理学の基本的な知見と全体像を理解する。

■ 達成目標・到達目標

知覚、記憶、思考、言語など、ヒトの心は様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学も、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。本講義では、心的機能の様々なトピックごとに心理学の理論や研究を紹介することで、多様性を含みこんだ心理学の研究の全体像を得るとともに、心についての基本的な知見を得る。

授業の流れ:

- 1 ガイダンス
- 2 心理学とは何か
- 3 心と脳
- 4 感覚と知覚
- 5 記憶
- 6 学習
- 7 言語
- 8 思考
- 9 情動
- 10 動機づけ
- 11 性格・個人差
- 12 発達
- 13 社会と認知
- 14 カウンセリング

使用テキスト: 講師オリジナル教材を準備する

評価方法 : 出席 80% 授業態度 20%

その他 : 特になし以上

授業概要（シラバス）

授業名	：子ども文化		
授業担当者	：金城永太郎		
対象学生	：こども未来本科1年生・2年		
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験者行う授業

■ 科目のねらい

誰の記憶の中にも子どもの頃夢中になっていた遊びやおもちゃなどの流行現象があるはずだが、その多くが実は大人が仕掛けたモノである。この授業では、企画する大人の側と受けとめ発展させる子どもの側の諸現象を追いながら、それらを質的研究の視点によって読み解き、子どもを取り巻く社会と子どもの内的世界との新たな関係を論考する。特にここでは、何人かで徒党を組んで行動するようになる10歳以降の子どもの文化の特性について理解する。

■ 達成目標・到達目標

- ・大人が考えてきた子ども観について考察できること
- ・自分の中にある子ども時代の考え方、感じ方について振り返ることができること
- ・子どもが主体的に生み出した文化と子ども産業が仕組んだ文化の違いに気付くことができる

授業の流れ：

- 1 . 座学 こどもの文化について
- 2 . 演習 絵本の読み聞かせ
- 3 . 演習 絵本の読み聞かせ 実践1
- 4 . 演習 絵本の読み聞かせ 実践2
- 5 . 玩具の構造と障がいの理解
- 6 . 指遊あそび グループで探す
- 7 . 幼稚園実習の演習 作り 1
- 8 . 幼稚園実習の演習 作り 2
- 9 . 幼稚園実習の演習 作り 3
- 10-14 幼稚園実習の演習. 裏表ゲーム「室内」
- 15-25 幼稚園制作
- 25-30 保育演習

使用テキスト：講師オリジナル教材を準備する

評価方法：出席80% 授業態度20%

その他：特になし以上

科目番号	SIBA科目	開講学期	通年：月1回	担当教員：初鹿野 修
科目名	教職基礎演習	受講学年	こども未来小教2年	
単位数	1単位	登録人数		
実務教員	○	実務教員の紹介	公立学校教職員として実務経験者が行う授業	

1、授業の概要

1年の教育フィールド研究から、教育職員の内容についてテーマ別に深掘りしていく。そのことで、疑問の解明、またさらなる疑問をもつことで、より教育職への魅力・深さを感じることができるようにする

2、到達目標

- ①小学校教育についての理解
- ②教育職に関わる用語の理解
- ③教育実践の個々のレベルのアップ

3、授業の計画と内容

通年

第1回		オリエンテーション
第2回		本務とは何？ 本務教員・臨時教諭
第3回		残業代があるのか？ 教職調整額
第4回		教員の懲罰は？ 服務規程等
第5回		教員の試験 採用試験・管理職試験
第6回		学ぶチャンス 研修・大学院
第7回		今日的課題① 今取り上げられている課題
第8回		今日的課題② 今取り上げられている課題
第9回		学び合いを考える
第10回		各自の学び整理

※テーマは、学生の興味関心により変更することもある

4、テキスト

作成プリント

5、成績評価の方法

学習状況の確認：授業態度・出席・参加状況

6、その他

なし

科目番号	S I B A科目	開講学期	通年	担当教員：初鹿野 修
科目名	学活演習	受講学年	こども未来 小教1～4年	
単位数	2	登録人数		
実務教員	○	実務教員の 紹介	公立学校教職員として実務経験者が行う授業	

1. 授業の概要

特別活動における「学級活動・話し合い活動」の演習として、学級会・ディベート・場面指導等を実践的に学ぶことを目的とする。

2. 到達目標

- 1) 話し合い活動の基本的な手順を知る
- 2) 教育現場で起きている諸問題についての話し合い活動ができる
- 3) 諸課題に対して、ディベートを行うことにより、物事を論理的に整理し、意見を言うことができるようにする
- 4) いろいろな場面指導を通して、学校現場での子ども・保護者・同僚等への対応を学ぶ

3. 授業の計画と内容

第1週	オリエンテーション・特別活動とは・学級活動の内容
第2週	小学校教員としての話し合い活動の具体的な内容
第3週	<p>①学級会活動：議題を決めての話し合い活動の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に起こりうる課題の設定 ・司会の学び ・意見を言うことの学び ・その他 <p>②テーマを決めてのディベート活動の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫緊の課題や今考えられるテーマを決めて、ディベートを行う ・論理性のある意見を言うことができる ・ディベートの司会ができる ・ディベートの評価ができる ・その他 <p>③場面指導の自己の教育理念に沿った指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で起こりうる場面指導を決める ・自分の教育理念に沿った指導ができるようにする ・学び合いからほかの学生からの学びを吸収する ・その他 <p>※上記の①②③を年間を通して計画に配置し、実践を通して学ぶ。 課題、テーマについては学生自らの発想、経験をもとに決めて実施する</p>
第4週	
第5週	
第6週	
第7週	
第8週	
第9週	
第10週	
第11週	
第12週	
第13週	
第14週	
第16週	
第18週	
第19週	
第20週	
第21週	
第22週	
第23週	
第24週	
第25週	
第26週	
第27週	
第28週	

テキスト

なし。課題に応じて必要なプリント準備

5. 成績評価の方法

学習状況の確認：授業への参加意欲・発言・記録用紙等

6. その他

なし

授業概要（シラバス）

授業名	： 幼保対策（令和5年度） 学習形態：演習		
クラス	： 3つのクラスに分けて実施する		
準1級クラス（DANA）	2級クラス（伊禮）	3級クラス（平安山）	
実施日程	： 月曜日（13:15-14:05 / 14:15-15:05）		
対象学生	： こども未来 CE1・2年生		
実務教員	○	実務教員の紹介	英語を活用する現場経験者及び資格者

概要：幼保英検取得のための授業を実施する。

目的：①幼保英検を取得すること。

②学んだ表現を使ってコミュニケーションが取れるようになること。

授業の流れ：

1回目	授業内容共有 検定対策①（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現①
2回目	検定対策②（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現②
3回目	検定対策③（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現③
4回目	検定対策④（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現④
5回目	検定対策⑤（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑤
6回目	検定対策⑥（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑥
7回目	検定対策⑦（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑦
8回目	検定対策⑧（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑧
9回目	検定対策⑨（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑨
10回目	検定対策⑩（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑩
11回目	検定対策⑪（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑪
12回目	検定対策⑫（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑫
13回目	検定対策⑬（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑬
14回目	検定対策⑭（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑭
15回目	検定対策⑮（単語、会話表現、リスニング）幼稚園、保育園で使われる会話表現⑮

※1回2時間として記載

使用テキスト：幼保英検準1級・2級・3級テキスト [一般社団法人幼児教育・幼保英語検定協会]

評価方法：出席80% 授業態度20%

その他：特になし

以上

授業概要（シラバス）

授業名	：英検対策		
クラス	：準2級クラス		
実施日程	：火・木 1-3(9:30-12:20)		
授業担当者	：火曜日 伊禮 亮 木曜日 平安山 雅矢		
対象学生	：各コース合同		
実務教員	○	実務教員の紹介	英検の有資格者、指導経験がある教員

概要：実用英語技能検定試験取得のための授業を実施する。

目的：①英検準2級を取得すること。

②学んだ英語を使ってコミュニケーションが取れるようになること。

内容：火曜日：単語、文法、長文読解、作文を中心に授業を行う。

木曜日：主に過去問題を使用し単語、会話表現、リスニングを中心に授業を行う。

授業の流れ：

1回目	授業内容、過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
2回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
3回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
4回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
5回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
6回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
7回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
8回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
9回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
10回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
11回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
12回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
13回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
14回目	過去問題（単語、会話表現、リスニング）
15回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）
16回目	過去問題（単語、文法、長文読解、作文）

※1回3時間として記載

使用テキスト：講師オリジナル教材を準備する

評価方法：出席80% 授業態度20%

その他：特になし

以上

授業シラバス

科目名	Yohou Eiken Pre-1			担当講師	Dayna			子供未来	
実施期間	1st Semester	学年	2	開講時間	Monday 曜	4,5 限	単位数	1	
実務教員	○	実務教員の紹介		10年日本英語の教師経験がある。英会話学童					
<p>Students will learn about the daily routines and annual curriculum of Japanese preschools and kindergartens in order to pass the Yohou Eiken Pre-1 test. They will use textbooks as a guideline, but this class will cater to their specific needs to pass the test. When time allows, we will also practice songs and crafts in English.</p>									
到達目標									
<p>Students will improve their reading, writing, and listening skills. By the end of the semester, the students should be confident in their ability to take and pass the Yohou EikenPre-1 test. They will have two chances to take the test over the year. Once in July and once in November.</p>									
回	テーマ			内容					
1	Going to School 1			Chapter 1					
2	Going to School 2			Chapter 1					
3	Fun School Events 1			Chapter 2					
4	Fun School Events 2			Chapter 2					
5	Fun School Events 3			Chapter 3					
6	Fun School Events 4			Chapter 3					
7	The Developmental Stage of an Infant 1			Chapter 4					
8	The Developmental Stage of an Infant 2			Chapter 4					
9	School Abscense Due to Illness 1			Chapter 5					
10	School Abscense Due to Illness 2			Chapter 5					
11	An Emergency Drill 1			Chapter 6					
12	An Emergency Drill 2			Chapter 6					
13	Education Prior to Enrollment 1			Chapter 7					
14	Education Prior to Enrollment 2			Chapter 7					
15	Practical Test Preparation			pgs. 179~					
テキスト	Kidsfore Bookfore Youho Eiken Pre-1								
	Apricot Let's Sing Together Song Book Keiko Abe-Ford (teacher will prepare print outs)								
	Kidsfore Bookfore Youho Eiken Pre-1 Workbook (teacher will prepare print outs)								

令和5年度 こども未来本科 チャイルドイングリッシュコース1・2年			
科目名：「チャイルドイングリッシュ」			
担当者：平安山雅矢			
実務教員	○	実務教員の紹介	英語関係の資格及び実務経験がある教員が行う授業
○SIBA 科目で通年 毎週火曜日 4.5 時間目 (13:15-14:05 / 14:15-15:05)			
4/18,25,5/9,16,23,30,6/6,13,20,7/4,11,18			
○授業に出席する学生・・・1年生4名(女子) 2年生5名(女子)計9名			
○授業は1年生と2年生合で実施する			

【授業の到達目標】

- ・英語で自己紹介ができる(保育園や幼稚園児3歳から5歳のこどもたちの前で)
- ・英語であいさつができ、子どもたちと簡単な会話ができる
- ・英語で表現力豊かな、場に応じたあいさつができる
- ・英語で手遊びやリズム身体表現を豊かに楽しく表現できる
- ・英語で絵本が読める
- ・英語で子どもたちに楽しく手あそびやリズム表現活動に参加させるテクニックが身につく
- ・外国の伝承遊びや集団遊び、手遊びができる
- ・自然に身体から出る豊かなジェスチャーが身につく
- ・英語でエプロンシアター(おおきなかぶ)が演出できる

【授業概要】

- ・英語の表現遊び(手あそび・身体リズム)を通して、こどもの創造力や感性を豊かに育む教材活用をマスターする。
- ・英語の「表現遊び」を通して、表現の楽しさを学生自身が味わい、表現力を培い感性を豊かにし、自然にパフォーマンスができるようにする
- ・インターナショナルの保育園や幼稚園の現場で自信を持って保育ができるよう、実践指導力を身につける。

【テキスト】

- ・担当者のオリジナルプリント等

【参考】

- ・日本のこどもたちが、幼児期に良く学ぶ「英語の手あそびと身体表現遊び」はこども未来本科がプリントして担当者に渡す。
- ・幼児期に経験や体験をさせたいリズムイングリッシュ(手あそび・身体表現・ことば遊び・クイズ・ゲーム・集団遊び・二人遊び・自由表現・絵本・カード等)

【教具等】

- ・担当者持参予定、SIBAにある教材教具使用可能。

【授業の計画と内容】

(対象年齢は3歳から5歳児：保育園児、幼稚園児、認定こども園児)

(4月から7月：12日間(24コマ))

1. 朝登校することものに声をかけることば
2. 子どもたちの前で自己紹介のスピーチ
 - ①1年生認可保育園体験実習(9月5日間)
 - ②1年生インターナショナル保育園体験実習(10月5日間)

③2年生幼稚園教育実習（9月20日間）

④2年生保育園実習（10月10日間）

⑤2年生施設実習（11月10日間）

3. 日常的なあいさつ（朝クラスの中、園内）こどもたちと先生方
4. 乳幼児から小学校低学年（小学校2年生まで）のこどもに伝えたい楽しい英語の手あそび、リズム表現、集団遊び、コミュニケーションゲーム、親子遊び等
5. こどもの体調の様子をさく時の言葉（気分が悪い・お腹が痛い・頭が痛い・食欲がない・風邪気味・熱がある・疲れている・寒い・寂しい・暑い・足が痛い・手が痛い・目が痛い・かゆい・どこが痛いの？など）
6. こどもとコミュニケーションの取り方（ことば・パフォーマンス・スキンシップなど）
7. 子どもを遊びに誘う時の声のかけ方（一人で寂しそうにしている子・一人で友達の遊びを眺めている子・一人遊びをしている子の中に学生（実習生）が遊びの中に入る時）
8. 子どもと簡単な会話
9. 緊張しているこどもと関わるテクニック
10. 子どもたちと別れるときのあいさつ（園で毎日最後にするあいさつ・保育体験実習最後の時のお別れのあいさつ）
11. こどもに感謝（お礼）のことば（保育体験実習で子どもたちからプレゼントをもらった時の言葉）（後期）

※9月から11月末までは1年生のみ

1. わくわくハッピーな手あそびとエンジョイリズムダンス
2. 楽しいイングリッシュ
3. こどもたちと簡単な会話
4. こどもたちが喜ぶセンスあるジョーク
5. 子どもたちに使ってはいけないことばと動作
6. クリスマス手話ソング（真っ赤なおはなのトナカイさん）

【その他】

1. 授業は2023年4月18日から2024年1月16日まで実施する
2. 前期は4月から7月まで
4/18,25,5/9,16,23,30,6/6,13,20,7/4,11,18
3. 後期は9月から1月まで
実施日は作成中（前期同様火曜日の4.5時間に実施する）
 - ①2年生は9月11日まで実習（幼稚園、保育園、施設）があるため授業は12月から実施する。
 - ②1年生は9月11日から15日まで保育体験Ⅰを行うため、チャイルドイングリッシュの授業は9月5・19・26日が実施日となる。
 - ③1年生は10月16日から20日まで保育体験Ⅱを行うため、チャイルドイングリッシュの授業は10月3・10・24日が実施日となる。

（成績評価 方法基準）

- (1) 出席率 50%
- (2) 授業活動参加 40%
- (3) 授業態度 10%

授業概要（シラバス）

授業名 : 一般教養英語（令和5年度 前期）

授業担当者：平安山 雅矢

対象学生 : こども未来本科3年生

概要：教員採用試験取得のための基礎英語を学習する。

学生が調べて他の学生に説明するとい方法で実施する。

目的：①基礎英語（英検3級から準2級範囲）を理解する。

②基本文法（英検3級範囲）を理解し説明することができるようになる。

授業の流れ：

1回目	授業内容共有、基本英文法①
2回目	基本英文法②
3回目	基本英文法③
4回目	基本英文法④
5回目	基本英文法⑤
6回目	[調べて発表] 違いは何だろう？ Be動詞と一般動詞
7回目	[調べて発表] 違いは何だろう？ 過去形と現在完了形
8回目	[調べて発表] 可算・不可算
9回目	[調べて発表] 基本的な品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞・接続詞、前置詞など）
10回目	[調べて発表] 不定詞
11回目	[調べて発表] 日本語の母音と英語の母音
12回目	[調べて発表] 句と節
13回目	[調べて発表] V（動詞）の形
14回目	[調べて発表] 5文型
15回目	[調べて発表] 分詞

使用テキスト：講師オリジナル教材を準備する

評価方法 : 出席80% 授業態度20%

その他 : 特になし

以上

授業概要（シラバス）

授業名	：指導計画
授業担当者	：金城永太郎（実習簿全般） 小嶺由美（傾聴の方法） 平安山雅矢（心構え・諸連絡）
実務教員	：○
実務経験者	：担当教員が行う授業
対象学生	：こども未来本科2年生
概要	：9月の幼稚園教育実習の事前準備・実習後の反省や記録を行う。 （実習簿の書き方、心構え、保育士や保護者の対応など）
目的	：①実習前の準備を行い、安心して実習の臨めるようになること ②実習の内容を記録し、今後に活かせるようになること

授業の流れ：

1回目（6月9日）	授業内容共有
2回目（6月16日）	実習簿の書き方①
3回目（6月16日）	実習簿の書き方②
4回目（6月30日）	実習簿の書き方③
5回目（6月30日）	実習簿の書き方④
6回目（7月4日）	傾聴の方法①内容説明
7回目（7月4日）	傾聴の方法②ケーススタディ
8回目（7月24日）	指導案の書き方①
9回目（7月24日）	指導案の書き方②
10回目（7月25日）	傾聴の方法③ケーススタディ
11回目（7月25日）	傾聴の方法④ケーススタディ
12回目（7月26日）	指導案の書き方③
13回目（7月26日）	事例研究①
14回目（7月31日）	傾聴の方法⑤ケーススタディ
15回目（7月31日）	傾聴の方法⑥ケーススタディ
16回目（8月31日）	実習前の心得・注意事項
17回目（8月31日）	質問解答①
18回目（8月31日）	質問解答②
19回目（10月5日）	実習振り返り①
20回目（10月5日）	実習振り返り②
21回目（10月5日）	お礼状確認

評価方法　　：出席 80%　授業態度 20%

その他　　　：特になし

以上

授業科目名	単位数	実施年度	担当
PC(Excel Power point)	1	令和5年度	山中晴代
実務経験者	○	実務教員の紹介	実務経験者・担当教員が行う授業

授業のテーマ

一般企業にて活用できるレベルでの操作技能の習得を目指す。

また、サーティファイ Excel 技能認定試験 3 級取得を目指す。

授業の概要

Microsoft Excel を使用するための操作手順の習得を目的とし、主に、Excel の基本操作、関数、グラフの作成、フィルター等を学習していく。

授業計画

1. Excel の起動、データの入力と編集の基本操作
2. 表の作成・編集、ブックの印刷・利用・管理
3. グラフと図形の作成
4. 関数、フィルター
5. 練習問題1
6. 練習問題2
7. 練習問題3
8. 模擬問題1
9. 模擬問題2
10. 模擬問題3
11. 模擬問題4
12. 模擬問題5
13. 模擬問題6
14. 模擬問題7
15. サンプル問題
16. Power point の扱い方
17. 発表スライド作成
18. 発表

テキスト

「Excel2016 表計算処理技能認定試験 3 級問題集」(サーティファイ)

参考書・参考資料

学生に対する評価

出席、授業態度、課題、検定試験の結果

こども未来本科2年課程・チャイルドイングリッシュ

授業科目名	オペア	担当講師	金城ひとみ	授業日時	月 1校時
実務教員	○	実務教員の紹介	実務経験者・担当教員が行う授業		
授業時数	15	単位数	1単位	配当年次学期	2年生・前期

授業の学習成果

オペア留学に行くための登録及び手続き準備を通して、留学に必要な英語力とコミュニケーション力を身に着ける。

授業の概要

オペアとしての自分の魅力を見出し、ホストファミリーとのマッチングに使う自己アピールポイントを作成する。

授業計画

- 1 手続き進行状況を確認し、オンラインアプリケーションの入力を再開する
- 2 アピールポイントを押さえながらMatch Questionsを完成させる
- 4 Photo Albumを完成させる
- 5 保育経験をアピールしながらVideo Albumを作成する
- 6 Video Albumを編集してまとめる
- 7 Video Albumを編集して完成させる
- 8 Education and Training の英文を考える
- 9 Education and Training の入力を始める
- 10 Education and Training の入力を終わらせる
- 11 Childcare Experienceの項目に推薦者①の情報を入力する
- 12 Childcare Experienceの項目に推薦者②の情報を入力し、送信する
- 13 Swimming Experienceの入力・アメリカの子どものしつけを学ぶ
- 14 Driving Experienceを詳しく英作文にする
- 15 Driving Experienceを詳しく英作文にする

参考資料等

添付書類チェックリスト① (Au Pair Care by Intrax)

添付書類チェックリスト② (Au Pair Care by Intrax)

MyAuPairCareオンラインアカウント

授業の評価方法・基準

出席率・授業態度50%、内容理解・進行状況50%

こども未来本科2年課程・チャイルドイングリッシュ

授業 科目名	オペア	担当講師		授業日時	
授業時数	15	単位数	1単位	配当年次 学期	2年生・後期

授業の学習成果

オペア留学に行くための登録及び手続き準備を通して、留学に必要な英語力とコミュニケーション力を身に着ける。

授業の概要

オペアとしての自分の魅力を見出し、ホストファミリーとのマッチングに使う自己アピールポイントを作成する。

授業計画

- 1 Health Overviewを書類を照らし合わせながら作成する
- 2 Medical Releaseの英文内容解説と入力
- 3 Physician Reviewスキャンしアップロードする
- 4 Eligibility を解説して、完成させる
- 5 ポイントを押さえながらProgram Referenceを完成させる
- 6 Personal Referenceを一人ずつ終わらせる
- 7 Back Ground Checkを完成させる
- 8 オンラインアプリケーションの最終チェック
- 9 メディカルヒストリーの作成と完成
- 10 オペア理解度チェック 練習問題 1 - 2 ページ
- 11 オペア理解度チェック 練習問題 3 - 4 ページ
- 12 オペア理解度チェック テスト
- 13 オペアToDoList 練習・テスト
- 14 不足資料の補充
- 15 資料作成最終チェック

参考資料等

添付書類チェックリスト① (Au Pair Care by Intrax)

添付書類チェックリスト② (Au Pair Care by Intrax)

MyAuPairCareオンラインアカウント

授業の評価方法・基準

出席率・授業態度50%、内容理解・進行状況50%

授業科目名	単位数	実施年度	担当
PC(Word)	1	令和5年	山中 晴代
実務教員	○	実務教員の紹介	実務経験がある教員が行う授業

授業のテーマ

一般企業にて活用できるレベルでの操作技能の習得を目指す。
また、サーティファイ Word 技能認定試験 3 級取得を目指す。

授業の概要

Microsoft Word を使用するための操作手順の習得を目的とし、主に、Word の基本操作、表の作成、書式の設定等を学習していく。

授業計画

1. Word の起動、文字の入力と編集
2. 文書の作成、保存、印刷設定
3. 表や図形の挿入・作成
4. 画像を使った文書の作成
5. 練習問題1
6. 練習問題2
7. 練習問題3
8. 模擬問題1
9. 模擬問題2
10. 模擬問題3
11. 模擬問題4
12. 模擬問題5
13. 模擬問題6
14. 模擬問題7
15. サンプル問題

テキスト

「Word2019 表計算処理技能認定試験 3 級問題集」(サーティファイ)

参考書・参考資料

学生に対する評価

出席、授業態度、課題、検定試験の結果

2023 年度 学校法人 尚学院 専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー											
こども未来											
情報リテラシーと処理技術											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	1 4	単位	1
担当教師	伊集 朝章			実務 経験	有	職種	システムエンジニア				
授業概要											
<p>現在の情報化社会において不可欠な知識である、コンピュータの基本的な仕組み、情報ネットワークの基礎、情報セキュリティの課題を理解する。</p> <p>取得した知識を実社会での業務や社会生活に効果的かつ安全に活用できるスキルの習得をまぎす。</p>											
到達目標											
<p>1. コンピュータの構成、基本的な仕組みを理解できる。2. インターネットの仕組みを理解し、様々なサービスを安全に活用できる。3. 私たちを取り巻く情報セキュリティ上の脅威を理解し、必要な対策を自ら構築できる。</p>											
授業方法											
<p>コンピュータ（ハードウェア、ソフトウェア）の仕組み、インターネットの仕組み、情報セキュリティ対策の基礎について、技術的な解説を行う。身近な事例を取り上げることで、具体的なイメージをつかみながら技術的な仕組みの理解を図る。</p>											
成績評価方法											
<p>授業内容の理解度を確認する小テスト（80%）</p> <p>積極的な授業参加度、授業態度によって評価する（20%）</p>											
履修上の注意											
<p>テキストを読んだだけでは分かりにくい部分を授業で解説するので、毎回必ず出席すること。疑問点はそのままにしないで、質問すること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認めない。</p>											
教科書教材											
指定テキスト：「情報リテラシーと処理技術」三木 紘武 著											
回数	授業計画										
第1回	授業概要、コンピュータの仕組み										
第2回	ハードウェアの仕組み										
第3回	ソフトウェアの仕組み										
第4回	インターネットの仕組み										
第5回	インターネット上のサービス										
第6回	情報セキュリティ①										
第7回	情報セキュリティ②										